

## 2019年度環境目標・実施計画

環境目的	環境目標	実施計画
温室効果ガスの削減	削減努力に努める (対基準年度17%削減)	冷房時は室温が28℃、暖房時は室温が20℃となるよう温度設定をする (ただし外気温や室内環境を勘案し、若干の調整は可能とする)
		クールビズ、スーパークールビズ、ウォームビズを推奨する
		ノー残業デーを実施する
		休憩時間の事務所・教室の照明をこまめに消灯する
		待機電力の節電（休憩時間のパソコンはスリープ状態にする）
		年次休暇の取得及び一斉休業を実施する
		総消費電力の警告メールを有効に活用する
		高エネルギー効率機器や再生可能エネルギーの導入を検討する
		OA機器・照明器具・家電製品等の更新（購入）に当たっては、エネルギー消費のより少ないものを選択する
紙使用量の削減	コピー用紙の使用量を前年度以下にする	用紙の両面利用を促進する
		紙の文書をできる限り電子化する
		会議資料を減らす
廃棄物排出量の削減	発生抑制とリサイクルを図る	分別を徹底し、リサイクルを促進する
		紙・消耗品の再使用を促進する
環境物品の調達	特定調達物品の調達率を100%とする	基準適合品の購入を更に推進する
環境汚染の防止	廃液、排水による環境汚染の防止	学生、教職員に教育を行い、実験廃液や生活排水による環境汚染を防止する
職員・学生に対する環境教育	環境教育の充実	一斉清掃を実施する
		学生サークル活動を支援する
		屋外喫煙場所以外での禁煙を徹底する
産業廃棄物に関する法律の遵守	廃棄物管理の徹底	マニフェストの完全実施
化学物質の管理の徹底	不用化学物質の発生防止	不用化学物質の処分と処理ルールを徹底する
	化学物質管理の厳密化を図る。	化学物質管理システムの拡充を検討する
社会に対する環境教育	環境関係公開講座の充実	環境関係公開講座の開催
	ボランティア、NPO、NGOの応援	ボランティア、NPO、NGOの応援
地域への広報	環境配慮促進法に基づく公開	環境方針・環境報告書の公開